

# 小野市議会だより

2022.2  
No.200



100号から20年、  
議会とともにあゆむ議員





- 初的女性議会開催 (昭和57年)
- 市議会のインターネット中継始まる (平成13年)
- 市議会だよりをホームページに掲載 (平成15年)
- 県内初！託児コーナーを開設 (平成18年)
- 議員定数20名から18名に (平成19年)
- 議会改革特別委員会を設置 (平成21年)
- 審議会等から議員への委員報酬辞退 (平成22年)
- 議員定数18名から16名に (平成23年)
- 市議会として小野市研究発表会に初参加 (平成23年)
- 本会議傍聴時の手話通訳、要約筆記を導入 (平成28年)
- 政務活動費の廃止、議会調査研究活動費の新設 (平成29年)
- 傍聴者が議会で的一般質問等について発言できる議会と市民との懇話会始まる (令和元年)
- 予算決算常任委員会設置 (令和2年)
- 新議場へ移転 (令和2年)
- 議場傍聴席に車いすスペース、スロープ及び難聴者用磁気ループアンテナ設置 (令和2年)
- 委員会をオンラインで開催可能に (令和3年)
- 小野市研究発表会に2度目の参加 (令和3年)

### ◆常任委員会数の変遷◆

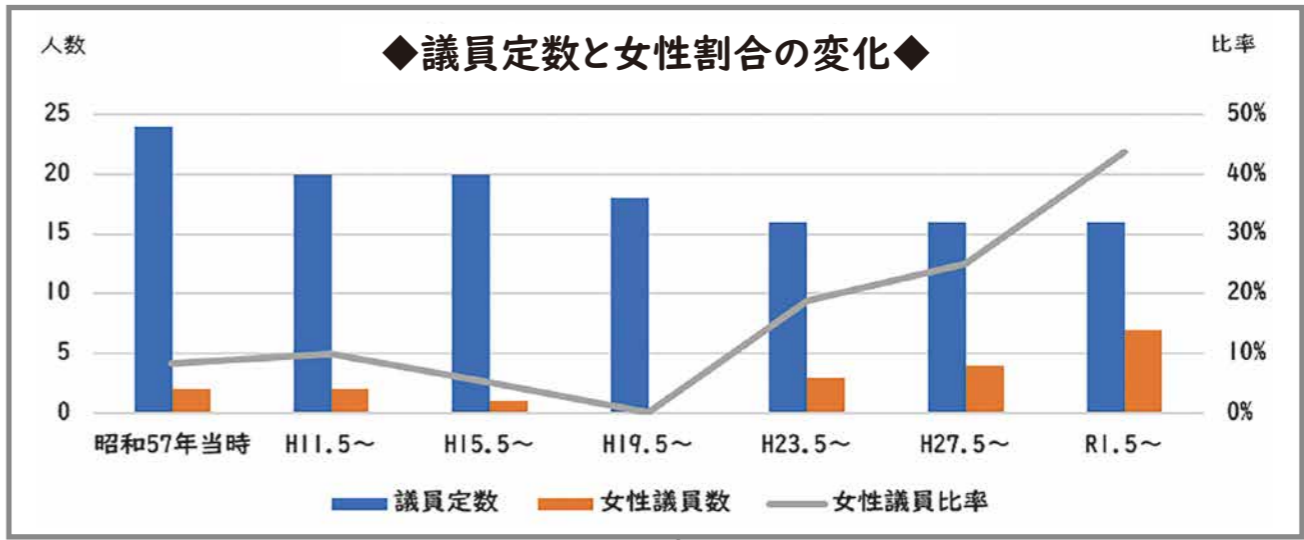
- 4委員会 昭和57年(創刊)当時 (総務、文教、民生保健、建設経済)
- 3委員会 昭和60年～ (総務文教、民生保健、建設経済)
- 3委員会 平成11年～ (総務文教、民生保健、地域振興)
- 2委員会 平成23年～ (総務文教、民生地域)
- 3委員会 令和2年～ (総務文教、民生地域、**予算決算**)

令和2年3月から新たに**予算決算常任委員会**を設置  
それまでは？

当初予算や決算については特別委員会等で審査・認定などを行っていた。また、補正予算については、各常任委員会に分割付託し審査を行っていた。

なぜ常任委員会に？

特別委員会は、特定の議題に期間限定で設置するのが原則であり、恒常的に審査を行うものを特別委員会で審査することは趣旨に合致していないといえる。また、行政実例では「予算は不可分であって、委員会としての最終的審査は一つの委員会において行うべく、二以上の委員会で分割審査すべきものではない」とされているため。



- ### ◆傍聴しやすい仕組みづくり◆
- 託児コーナーの開設
  - 手話通訳、要約筆記の導入
  - YouTubeによる議会中継、録画配信
  - 傍聴席に車いすスペース、スロープ、難聴者用磁気ループアンテナ設置



昭和57年当時は議員24名のうち女性が2名で、女性比率は8.3%だった。その後、平成19年改選時には女性議員がゼロとなったが、現在では、議員16名のうち女性が7名に増え、比率も43.8%となった。

10月に行われた衆議院議員選挙後は、衆議院議員の女性比率が9.7%となり、それまでの10.1%より下がるなか、小野市議会は女性比率が高いということもあり、メディアによる取材も受けた。

# 審議議案の中から PICK UP!!

## 第433回 定例会

会議期間25日間  
(11月29日～12月23日)

市長提出議案…議案8件

(補正予算3件・条例改正1件・その他4件)

一般会計補正予算第67号(議案第61号、62号)

所得制限撤廃、10万円を現金で一括支給 約8,800人が対象

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、子育て世帯の生活支援を行います。

### ◆支給対象

- ①令和3年9月分の児童手当の支給を受けている方
- ②令和3年9月30日において高校生<sup>注1</sup>を養育する方
- ③令和3年10月1日以後令和4年3月31日までに出生した児童の父母など

注1 15歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した児童で、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者

### ◆給付金額

子ども一人当たり10万円

### ◆手続き等

支給対象①のうち公務員、②③の方は申請手続きが必要で、※申請手続きの必要のない方には、12月28日に振込されています。

一般会計補正予算第8号(議案第55号)

より安心を！  
3回目のワクチン接種始まる

変異ウイルスが世界中で次々発生するなど新型コロナウイルスが終息するには時間が必要です。変異ウイルスによって一旦収まりかけていた感染者数が増加する場合もあります。また、2回ワクチンを接種した場合でも、時間が経つことで、感染予防の効果が弱まることもあるので、3回目のワクチン接種を行います。安全で円滑に接種が行えるように、接種券の発送やコールセンターの設置など体制整備を行います。加えて、個別接種を行う医療機関との委託料や集団接種会場での医師や看護師等の報償費なども併せて予算化することで、市民の安全安心を守ります。

集団接種3回目  
予約はこちら

新型コロナウイルスワクチン  
コールセンター  
TEL 0794-70-8190  
Web予約も可

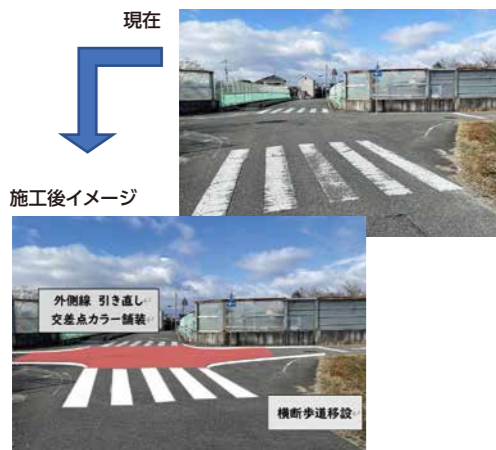


※予約は必ず接種券が  
お手元に届いてから

満18歳以上の2回目接種が完了した方で、追加接種時期を迎えた方から順次接種券を発送しています。予約はコールセンターのほか、Web予約が便利です。

児童生徒の安全を願って

子どもたちが安心して登下校できるように安全な通学路を目指して、これまでから定期的に点検し対策をしています。しかし、昨年6月に千葉県で発生した事故をはじめ、全国的に通学路に関係する事故が後を絶たない状況です。このことから、警察等関係機関と合同で市内全域の点検を行い、対策内容を取りまとめました。その中から20か所対策を早期に進め、子どもたちを事故から守ります。



# 市議会のあゆみ(続)

## ◆政務活動費から議会調査研究活動経費へ◆

平成29年から政務活動費を廃止！議会調査研究活動経費を新設

政務活動費とは？・・・政策の調査研究活動のため議員に支給される費用。  
 なぜ廃止に？・・・小野市は議員1人につき月2万円を支給し、毎月の領収書確認や年度末精算を行っていたが、市民の視点から、使途や議会活動にもたらす効果が見えにくいなどの問題があると捉えたため。  
 現在は？・・・議会活動と位置付けた経費のみ市の一般会計から支出することとし、視察後は全議員参加の報告会で情報共有を行い議員の調査研究活動に要する費用の透明性を確保している。



議会における調査研究活動のあり方を見直し、必要な経費を見定めた公金の支出とした結果、経費の削減にもつながった。

## ◆議員報酬の特例に関する条例◆

- 制定** 平成26年度から、議員が長期に渡り議員としての職責を果たすことができない場合または住民の信頼に反する行為をした場合に、議員報酬および期末手当の支給について減額する特例を定めた。
- 改正** ・平成30年6月、議員が辞職勧告決議を受けた場合、期末手当を減額することとした。  
 ・令和3年6月、産前6週産後8週までの期間は報酬等を減額する期間から除外することとした。

議員活動ができない期間	支給割合
90日以下	100分の100
90日を超え180日以下	100分の80
180日を超え365日以下	100分の70
365日を超える	100分の50

※公務上の災害、感染症の罹患等議長が認める事由については適用除外

【期末手当減額の算定】  
(辞職勧告決議を受けた場合)

報酬月額×加算率×期末手当率×期間率  
⇒なし

## ◆市議会報の刷新◆

議会に関心を持ってもらえるよう、まずは手に取って読まれる議会だよりを目指す！

- 《主な改善点》
- 文字数を減らして余白をとる
  - 写真やイラストを効果的に
  - 2色刷りからフルカラー印刷に
  - 特集ページの作成、特集に連動した表紙に





# ここが聞きたい 一般質問!!

市民のみなさまの生活に  
関わることについて、  
10人の議員が  
一般質問を行いました。

(一般質問は発言した議員が編集しました)

## ●一般質問とは……

市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。  
また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。

## ●質問テーマは？

1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。



## ●質問の制限時間は？

1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)



### 《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます!》

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



まずは知ってください

**質問** 子宮頸がん予防（HPV）ワクチン定期接種、積極的勧奨の再開に伴い、情報提供と中学校との連携について

**答弁** 定期接種の対象者と保護者全員に個別送付による情報提供。多感な思春期の時期を鑑み、より一層の配慮を加える予定。約10年前から継続してきた学校との連携体制を土台とし、国が作成したリーフレットを活用し、正しい理解を促すことや、想定される様々な事項について連携体制を作りたい。  
(市当局)

**質問** 子宮頸がん予防（HPV）ワクチン定期接種、積極的勧奨の再開に伴い、情報提供と中学校との連携について

**答弁** 定期接種の対象者と保護者全員に個別送付による情報提供。多感な思春期の時期を鑑み、より一層の配慮を加える予定。約10年前から継続してきた学校との連携体制を土台とし、国が作成したリーフレットを活用し、正しい理解を促すことや、想定される様々な事項について連携体制を作りたい。  
(市当局)

村本洋子議員（公明党）



QRコード



**質問** 流産や死産を経験した女性等への支援について

**答弁** 産後ケア事業については、流産や死産を経験した女性が産後の方と同じ場所でケアを受ける精神的負担に配慮し、今年度から居宅訪問（アウトリーチ）型の形態を追加。当事者の方々への情報提供と、周囲の方々や市民に向けて温かい理解と支援の気持ちが届くよう、周産期グリーフケアの周知・啓発に取り組む。  
(市当局)

**質問** ヤングケアラー支援の社会的認知度の向上について

**答弁** 令和4年度からの3年間、ヤングケアラーに関する「社会的認知度の向上集中取組期間」を契機に小野市いじめ等防止条例の精神に立ち返り、取り組む。  
(市当局)

## 提出議案と審議結果



### ★全会一致で可決・同意した議案

区分	議案番号	議案名
補正予算	第55号	令和3年度小野市一般会計補正予算（第8号）
	第61号	令和3年度小野市一般会計補正予算（第6号）
	第62号	令和3年度小野市一般会計補正予算（第7号）

※議案第55号は、議案第61号及び議案第62号が先に可決したため、補正番号等計数整理を行った。（6号→8号）  
 ※議案第61号は、議案第55号に先駆けて可決したため、補正番号等計数整理を行った。（7号→6号）  
 ※議案第62号は、議案第55号に先駆けて可決したため、補正番号等計数整理を行った。（8号→7号）

条例	第56号	小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
その他	第57号	小野市一般廃棄物最終処分場の管理に係る指定管理者の指定について
	第58号	土地の取得について
人	第59号	小野市公平委員会委員の選任について 小野市天神町 市橋 茂樹 氏
	第60号	小野市固定資産評価審査委員会委員の選任について 加西市山下町 横山 英一 氏 小野市久保木町 藤原 康博 氏

一日も早く！～子育て世帯臨時特別給付金～

令和3年12月末までに全て現金で届くよう、  
急きょ日程を追加して審議しました。

令和3年11月29日の定例会初日に、先行分の現金5万円を12月末までに支給する議案第61号を可決しました。その後、国が現金一括支給も問題ないとするなど方針を転換したため、12月15日に本会議の日程を追加し、所得制限をなくして12月末までに10万円を一括支給するための議案第62号を可決しました。

平田真実議員（紡ぐ未来）



## スポーツ芸術文化に投資を

**答弁** 図書館東側も含め大きな視点で再構築したい

**質問** コロナ禍で日常生活が大きく変化する中、人々の心に豊かさをもたらすスポーツ芸術文化活動の重要性を再認識している。スケートボードやスポーツクライミングなど、アーバンスポーツ人気の高まりを分かりやすい例に、スポーツ芸術文化ニーズも多様化している。加えて、好古館もオープンから31年が経過し、ハード面の修繕等必要になるのでは。スポーツ芸術文化活動拠点への投資について市の考えは。

**答弁** スポーツ芸術文化活動が子どもたちの健全な育成や、安全安心で心豊かなまちを形成する。人口減少、人流の変化、近隣施設の動向、財政状況等を勘案し、ニーズに応えるための再構築、統廃合をしていく。具体的にスポーツ施設については、大池総合公園の施設や、浄谷野球場の



芸術文化を創造できるまちに

再構築。県下では比較的若い世代が多い小野市の地域特性を踏まえ、浄谷黒川丘陵地の構想と、大池総合公園、図書館東側農地を含めた新しいまちづくり、芸術文化の拠点としてのエクラの再リニューアル等、大胆な発想で小野市の新しい時代を描いていく。  
(市長)

### ■その他の質問

・ウイズコロナの子育て支援について

久後淳司議員（紡ぐ未来）



## 教育環境維持の具体的な考えは？

**答弁** 地域の学校は、できうる限り存続させていく

**質問** 学校は単に教育の場ではなく、災害時の拠点であり、下東条や中番地区においては地域を支えるシンボルでもある。今後、地域の過疎化が進んでいく中で、地域の教育環境を維持するための具体的な考えは。

**答弁** 学校には地域の協力が必要で、地域と学校は切り離せない関係。国の流れは少人数教育を重視する流れになっており、最先端の国立小学校では、1学級35人になったばかりだが30人にしていくという情報もある。複式学級になることは、先生の配置に関わるが、その負担を市が行って維持する考えもある。ヨーロッパではイェナプラン教育という少人数で、個に応じた教育方法もあり、これからは今までと違った方法で、少人数学校を守る方法を研究していく。  
(教育長)



地域のシンボル・地域の災害拠点

**質問** 東条川河川改修について完成をどのくらいの期間で計画されているのか、把握されている情報の中で見解を。

**答弁** 県事業でもあり、国の示す河川整備方針は20〜30年で計画している。なお、防災面については、市は局地的豪雨等に対する防災・減災にも取り組んでいるが、河川改修が確実な安全を保障するものでないため、自分の命を自分で守る行動への取組が重要である。  
(市当局)

喜始真吾議員（紡ぐ未来）



## 橋梁長寿命化修繕計画について

**答弁** 点検結果に基づき、順次補修に着手する

**質問** 予防保全段階と早期措置段階を合わせて149橋の今後の補修の進め方は。

**答弁** 令和3年3月時点の最新点検結果では、「措置を講ずることが望ましい状態」が166橋、「早期に措置を講ずべき状態」が15橋となっている。このうち、「措置を講ずることが望ましい状態」の166橋は経過観察とし、「早期に措置を講ずべき状態」の15橋について、7橋は補修済みで、2橋は国、県で対応、6橋を順次補修していく。(市当局)

**質問** 補修工法は多岐にわたっているが、どのような工法で施工されているのか。

**答弁** 主にひび割れの修復や、橋面の防水と舗装の打ち替えが多い。  
(市当局)



新部橋

**質問** 道路の新設や社会情勢の変化により交通流動も変化している。現在の交通量で補修すべきではないか。

**答弁** 交通量だけで判断はできない。法定点検と通常のパトロールによる点検結果を考慮しながら、順次補修する。  
(市当局)

藤原貴希議員（紡ぐ未来）



## 防犯灯・カメラ効果的な設置を

**答弁** 必要であれば調査の上、自治会と協議対応する

**質問** 全国的に平成14年をピークに犯罪は減少傾向にあり、小野市においても同様に減少傾向にある。人口千人当たりの犯罪件数は全国平均とほぼ同じである。全国平均をさらに下回るべく今後どのように防犯を行っていくのか。

**答弁** 被害の発生や犯行手口等に関する情報を警察等の関係機関と共有する。また市民に対して広報啓発活動や早期の相談対応により犯罪を未然に防いでいく。  
(市当局)

**質問** 防犯上必要な場所には支柱付きの防犯灯や、防犯カメラの増設を望むが当局の考えは。

**答弁** 防犯カメラは無いよりある方が良いのはもちろんだが、予算の関係上今までのペースで年に1、2台ずつ新設していく。防犯灯は自治会の申請を受けて設置しているが、防



市民を見守る防犯灯・カメラ  
(市当局)

松永美由紀議員（市民クラブ）



## 新たな交通政策について

**答弁** 新たな交通政策の仕組み作りについて研究していく

**質問** 市内の公共交通網については、神戸電鉄、JR加古川線、神姫バス、ららんバスがあるが、加えて、交通政策として見過ごせないのは、タクシー事業である。一部の市民からは、ららんバスについて、バス停が遠く歩けない、乗り慣れないと時刻や乗り継ぎが不安。それならタクシーが気楽で良い。という声がある。思い立った時に、玄関から目的地まですべてでも行ける。しかし最近、乗務員の高齢化や退職による稼働台数の減少で、タクシーの姿が少なくなりつつある。電鉄小野駅にも待機タクシーの姿がない。小野駅に降り立つ観光やビジネス目的の利用者が居ることも忘れてはならない。車を持たない高齢者やららんバスを使いにくい高齢者がストレスを感じずに利用できる交通政策として、タク

シーを活用した新たな交通体系について当局の考えを問う。  
**答弁** 未来に、公共交通の選択肢の一つとしてのタクシーを残すため、いかにタクシー需要を掘り起こし、人手を確保するかという難しい問題ではあるが、ららんバスを補完する新たな交通政策の仕組み作りとして、引き続き研究を重ねていく。

（市当局）



河島三奈議員（市民クラブ）



## 通学路の安全対策グリーンベルトは？

**答弁** 効果的な場所はどこか分析・研究を続ける

**質問** 議案第55号補正予算内交通安全全施設整備事業費2,000万円について詳細を問う。

**答弁** 昨今の全国各地での通学路における痛ましい事故が後を絶たない状況の中で、小野市においては中学校区ごとに継続して取り組んできた通学路の合同点検を10月にすべての校区を対象に実施し、その結果危険箇所として指摘のあった24箇所において、交差点のカラー舗装や警戒標識の設置、歩道溜まり部への車止めの設置等を予定。（市当局）

**質問** 今回は内容に含まれていないが、通学路のグリーンベルトについて経年による劣化が激しい。この修繕はどうか。またグリーンベルトの必要性について開始時からの研究はされているのか。



剥げたグリーンベルト  
（市長）

**答弁** グリーンベルトについては、過去に通学路の安全対策の一環として早急に対応した結果である。箇所の重要性の分析をはじめ、必要な箇所の修繕については適時対応していく。

**質問** 市内の主要道路に名称（親しみを込めた通称）をつけることについてどのように考えるのか。

**答弁** 市内の道路には起点終点の町名を冠した名がすでにありますが、新しい時代のまちづくりにあわしい道路名にすることも必要である。

高坂純子議員（市民クラブ）



## 住宅用火災警報器に半額補助を！

**答弁** 自己責任に関することは自らが意識を持って

**質問** 住宅用火災警報器の設置が義務化され、10年が経過する。小野市も自治会単位での共同購入や戸別訪問啓発等の成果で設置率は県内第二位であるが、点検や交換が急務となっている。

市民一人一人の火災予防意識の向上と、町内の絆を深めるためにも『①自治会でのデータ管理と推進②ステッカーの掲示（デザインは募集）③取り換え費用の半額補助④小・中学生による住宅用火災警報器の防火ポスターの募集&各町の掲示板をはじめ市内各所に掲示⑤小野市住宅用火災警報器一斉点検日の設定』を提案する。

**答弁** 防災における基本理念は、悲観的に準備し楽観的に対応する。持続的に徹底してやり続ける、し続けることである。住宅用火災警報器は

法的に設置しなければならない。管理された状態になっていくかどうか、誰が設置して誰が設置していないのか実態把握する。子ども達には啓発のための安全安心教育を行う。更新に対する助成については、危機管理の醸成こそが真の目的であり、自らをもって設置することが自立した社会を目指すための投資である。

（市長）



■その他の質問  
・新型コロナウイルス第6波への対応について

河島信行議員（無党派）



## 河合中と旭丘中の校舎長寿命化

**答弁** 今後、旭丘中、河合中学校の順で実施する

**児童・生徒・学生の通学路の安全対策**

**答弁** 地元住民からの要望等に基づき、効果的な安全対策を講じている。通学路の安全確保における最も効果的な方法は、歩道と車道を分離する歩道整備だが、用地買収や大規模工事は、多くの時間と事業費が必要なことから、国庫補助事業を視野に中長期施策で進めている。一方、短期施策として防護柵、標識、区画線の設置など、優先順位を付けて実施している。

**質問** 市内の主要道路のネーミング（通称）化について

**答弁** 通称名の代表的な道路として、市庁舎の南側の「きらら通り」があり、市民から愛称を募集し命名。このほか「サンロード」「はなみずき

街道」といった名称が付けられており、地域の方々に親しんでいただいている。これ以上、新たな通称名を付けることは考えていないが、よく利用される道路などは、市民に分かりやすく愛着を持っていただく必要から、新たな名称を付けることについて研究する。

（市当局）



市庁舎前を通る「きらら通り」



河合中学校（50年が経過した）

# 常任委員会審査報告

12月定例会の提出議案審査について、予算決算、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催し、当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

## ≪予算決算常任委員会≫

11月29日・12月15日・21日開催

付託議案数：3件（議案第55号・61号・62号）  
 審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。



### ●主な審査内容

議案第62号について

- ・子育て世帯臨時特別給付金について、所得制限を撤廃し年末に10万円を現金一括給付で行う対応は、小野市の子育て支援に対する理念、「地域の実情に応じて当たり前」のものを当たり前にする」と確認した。

## ≪総務文教常任委員会≫

12月21日開催

付託議案数：1件（議案第57号）  
 審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

## ≪民生地域常任委員会≫

12月21日開催

付託議案数：2件（議案第56号・58号）  
 審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

# 令和3年度小野市研究発表会



10月13日に開催された令和3年度小野市研究発表会に参加しました。「2040年の未来予想図」と題して、小野市の未来について発表しました。



# トライやる・ウィークの中学生が議場を見学

11月にトライやる・ウィークの中学生が議場を見学に来てくれました。議員が議場を案内し、議会などについてわかりやすく説明しました。



議会の傍聴を兼ねて  
 皆さんも議場へお越しください



# 議会と市民との懇話会

一般質問のある日の休憩中に、傍聴に来られた方が議会での一般質問やその答弁内容等について質問することができる懇話会を実施しています。

傍聴に来られた方のみが体験できる時間ですので、ご覧になりたい方、参加したい方は是非とも議場にお越しください。



### 懇話会での意見

- 子宮頸がんワクチンを含めたワクチン定期接種について
- ヤングケアラーについて
- 防犯について
- 自治会におけるコロナへの対応について

など

**質問** 「朝の読書運動」がある。今の子どもを取り巻く環境は面白い刺激

**学校における朝の読書活動について**

**答弁** 伝産会館周辺は店舗が出来て新たな人流が生まれる。伝統的工芸品の振興は、後継者の育成と経営面からの振興策が重要である。（市当局）

**質問** 市の伝統産業会館は、市役所が移転して場所が悪い。ひまわりの丘公園のオーストを拡充し、展示・販売の他、実演や体験等をしてはどうか。

**小野物産館「オースト」を拡充し伝統的工芸品の振興を**

**質問** 対象が未就学児では少ない。市で高校生まで拡大しないか。

**答弁** 全国市長会で対象範囲の拡大を要望している。（市長）

**子ども国保税均等割の免除を**

**藤原 章 議員（日本共産党）**



**質問** ひょうご小野産業団地内の道路用地を県から買収するが1㎡当たり1万3,400円というのは高すぎるのではないか。

**答弁** 本来、市が行う道路造成工事を県が一括して行い、その工事費が加味された鑑定評価額で適切な価額である。（市当局）

**新産業団地内道路用地の取得について**

**質問** 朝の読書運動は、すべての小・中学校で各学校の実態に応じて積極的に取り組んでいる。しかし、本に親しむ機会が減少する傾向も顕著であり、一層読書をすすめたい。（市当局）

**質問** 対象が未就学児では少ない。市で高校生まで拡大しないか。

**答弁** 全国市長会で対象範囲の拡大を要望している。（市長）

**子ども国保税均等割の免除を**

**質問** 対象が未就学児では少ない。市で高校生まで拡大しないか。

**答弁** 全国市長会で対象範囲の拡大を要望している。（市長）

**子ども国保税均等割の免除を**

**質問** 対象が未就学児では少ない。市で高校生まで拡大しないか。

**答弁** 全国市長会で対象範囲の拡大を要望している。（市長）

# 民生地域常任委員会調査報告

令和3年11月12日(金)

## 認定こども園制度の概要及び市内保育施設の動向について(市民福祉部)

### 1. 保育所・幼稚園・認定こども園の概要

現状と課題

- 保育所：家庭保育ができない保護者に代わり0～5歳児を保育する施設
- 幼稚園：小学校以降の教育基礎を作るため3～5歳児を教育する学校
- 認定こども園：3～5歳児の幼児教育と0～5歳児の保育を一体的に行う施設
  - ・粟生、市場、北辰、現在整備中の白百合と今後整備する中央、亀鶴は幼保連携型

### 2. 幼保連携型認定こども園へ移行するメリット、デメリット

【メリット】

- ・1号認定児の給付単価が高く、園の収入が増大する
- ・1号認定枠は保護者の就労等に関わらず入所を申し込める
- ・1号認定枠は施設の裁量により地元の子どもの優先して入所させることができる
- ・2号認定児は、入所中に保護者が退職しても1号認定児として継続して通園できる

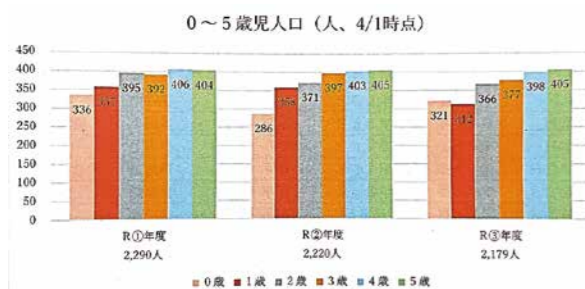
【デメリット】

- ・教育標準時間が加わるため時間管理やクラス運営が複雑になる
- ・保育教諭等、新たな職員の確保が必要となる
- ・保育料の徴収を認定こども園が実施する
- ・厚生労働省と文部科学省の二重管理下に置かれ、事務負担が増える

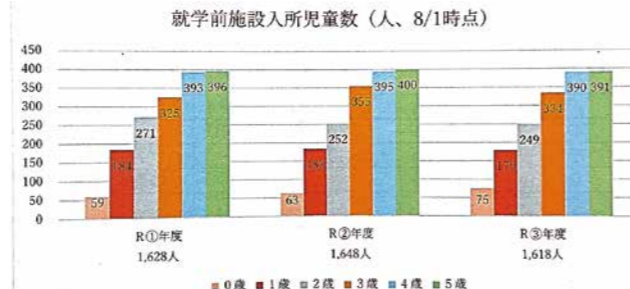
「認定区分」

	0から2歳児	3から5歳児
保育を必要としない		1号認定
保育を必要とする	3号認定	2号認定

### 3. 0から5歳児人口の推移



### 4. 就学前保育施設の入所児童数



### 5. 令和3年度の就学前教育・保育施設入所児童の動向

- ・社会変化に対応し、地域特性を生かした保育体制の再構築が必要
- ・4、5歳児は今後空きが出てくると予測
- ・3号認定の保育体制の強化が必要。園舎整備時に定員を調整
- ・ほとんどの保育施設で定員を上回っている

都市部では重要な待機児童対策として位置づけられている認定こども園制度だが、社会福祉法人の経営上の観点からも捉える必要があり、一般的にこども園化した方が経営的には有利になると考えられる。少子化が進んでいいるものの女性の就業率は年々上昇しており、3歳未満児の保育所利用は今後しばらく増えることが想定されることから、小野市においても3歳未満児の保育について強化する必要がある。多くの保育所では園舎が築40年を超え、建て替えや認定こども園化など大きな決断を迫られている。今後も引き続き、子育て支援サービスを提供する重要な施設として各保育所の動向について注視していくとともに、安全で安心した保育・教育のできる環境を整えるための活動が必要だと感じた。

# 総務文教常任委員会調査報告

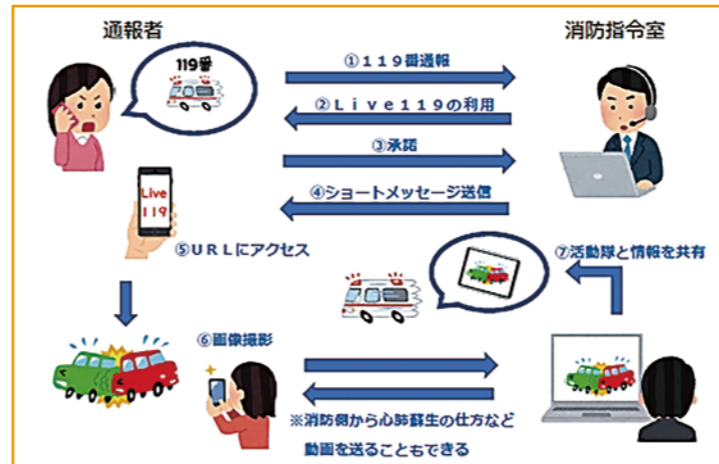
令和3年11月8日(月)

## Live119について

消防本部で実際に体験!

【概要】

- ・通報者が現場の状況を撮影し、リアルタイムに伝送する新しいシステム
- ⇒音声通報の見える化



実際に撮影、伝送した映像



【市民のメリット】

- ・言葉では伝えきれない内容を映像で伝えられる
- ・口頭指導の内容を映像で確認できる
- ・自分のいる場所が正確に伝えられる

【消防側のメリット】

- ・災害現場の状況が確認できる
- ・出動可否の判断、必要台数の判断ができる
- ・位置情報の正確な確認ができる

【課題】

- ・ガラケーなど、対応できない機種を持たれている場合がある
- ・ショートメッセージを受信した以降の操作ができない
- ・撮影協力の承諾が得られない

【今後の展望】

北播磨総合医療センター及び防災グループ等と連携し、映像情報等を共有できる小野市独自のネットワーク構築を目指す

## コロナ禍における救急活動について

- 令和2年度から陰圧式搬送装置「アイソレーター」の導入

陰圧式搬送装置「アイソレーター」

内部の気圧を常に外部より低くして空気を逃がさないようにし、フィルターを通して空気をきれいにしてから排出する密閉式カプセル装置

⇒ウイルスや病原菌の拡散を防いだ状態で傷病者を搬送できる

- 全事案において救急隊員はN95マスクを着用

N95マスク

ウイルスを含んだ飛沫を防ぐことができる高機能マスク

⇒コロナ事案か否かの判断を不要にし、出動までの時間短縮ができる



アイソレーター

Live119について、議員が疑似通報者となり実際に撮影した映像を伝送するなど、操作方法等について確認した。多くの市民がこのシステムを活用することがより効果的な消防・救急活動につながるため、制度の周知や機器の操作方法等の理解について啓発を図る必要があると考える。

また、コロナ禍の救急活動については、陰圧式搬送装置「アイソレーター」を導入したことで、ウイルスを外部へ拡散することなく安全な状態で傷病者を搬送でき、同乗者や隊員の心的ストレスの緩和に繋がっていることなどを確認した。引き続き、油断することなく適切な装備で安全な活動を維持していただきたいと考える。



# 議会を傍聴しませんか

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴をお断りする場合がありますのでご了承ください。

## ☆3月定例会日程☆

- 2月25日(金) 午前10時～  
本会議(第1日) 議案説明
- 3月15日(火) 午前10時～  
本会議(第2日) 一般質問実施
- 3月16日(水) 午前10時～  
本会議(第3日) 一般質問実施
- 3月25日(金) 午後1時30分～  
本会議(第4日) 議案の採決など

- ★一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
- ★3月定例会で一般質問する項目・内容については、3月中旬に市議会ホームページに掲載します。



傍聴席から見た議場

小野市議会では、本会議を一般公開しています。当日受付で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも議会の傍聴ができます。

市役所6階 議会事務局までお越しください。

## 議会と市民との懇話会

議員の質問が終わるごとに、質問や答弁内容について傍聴席からご意見をいただく機会を設けます。展開される議論にご注目ください。一般質問は3月15日(火)、16日(水)に行われます。

## 「手話通訳」・「要約筆記」を利用できます

本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。希望日の8日前までに議会事務局にお申し込みください。(費用負担はありません)



## 「託児コーナー」を開設

一般質問が行われる3月15日(火)、16日(水)は、「託児コーナー」を開設します。傍聴の際には、1歳から就学前のお子さまをお預かりします。3月7日(月)までに議会事務局にお申し込みください。(費用負担はありません)



## 傍聴に行けなくても YouTubeで会議中継



## マチイロ

アプリをダウンロードするとスマホに広報誌が届きます!



## 議会傍聴者数

12月定例会30名  
(令和3年度累計73名)

＜お申し込み先＞ 議会事務局 TEL.63-1006(直通) FAX.63-4108  
E-mail:gikai@city.ono.hyogo.jp (市議会だよりへのご意見もこちらまで)

## あとがき

今回は記念すべき200号、平成14年2月発行の100号から20年の歳月が流れ、議員定数をはじめ、議員16名中女性が7名と、県内市議会の中で女性比率が最も高くなるなど、大きく移り変わりました。

また、平成14年当時には想像もしなかった新型コロナウイルス感染症の拡大によって経済は疲弊し、社会情勢も大きく変化している中、私たち議員の役割も非常に重要になっています。これからも市当局とともに市民の皆様の安心安全な生活と、地域経済を守るため、議員一同全力で取り組んでまいります。

(市議会報編集委員)

喜始真彦

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。